



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 8

2020.8.26(No.3053)

ロータリーで良いことをしよう

第2560地区ガバナー／佐藤 真  
 会 長／野崎喜一郎  
 会長エレクト／歸山 肇(クラブ奉仕A)  
 副 会 長／松永一義  
 幹 事／渡辺良一  
 S A A／五十嵐博宣  
 会 計／柳取崇之  
 直前会長／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:60名中48名  
 ■先々週出席率:83.33%

【先週のメイクアップ】

- [8.22] オンライン会長懇談会へ  
・野崎喜一郎さん
- [8.22] RLI DLオリエンテーション(新潟)へ  
・関川 博さん
- [8.22] 地区運営改善検討委員会(新潟)へ  
・関川 博さん



「弥彦山頂から望む雲海の越後平野」

## 会長挨拶 「宮城県」

野崎喜一郎 会長

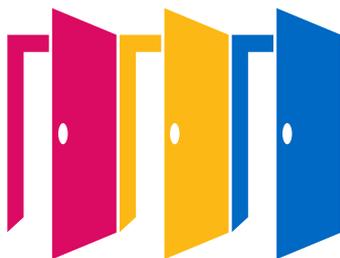


2015年、福島県に続いて宮城県でも震災復興に協力しようという合い言葉のもと、仙台に集まりました。まずは腹ごしらえ、駅前の利休で牛タン1.5人前とビールで乾杯してお昼を食べました。その後シティーグループバスで仙台市内を何箇所か観光して秋保温泉の送迎バスで「水戸屋」に向かいました。

宮城国体は2001年に名取市ゆりあげで開催されました。海

辺の水産加工工場が並ぶ一角に簡易のヨットハーバーが作られ、特設会場としてここで行われました。宮城県の大学や高校のヨット部がここに集まり活動拠点となりました。大変使いやすいハーバーが出来て羨ましく思ったものでした。しかし10年後東日本大地震が発生して全て跡形もなくなりました。福島のいわきサンマリーナ同様廃墟でした。仙台駅に向かう道中、いたるところに津波の爪あとがありました。瓦礫、廃校になった学校などなど。

この辺りは大変平坦な土地なので、かなり内陸部まで津波



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度国際ロータリーのテーマ

が来ました。しかし、常磐自動車道路の盛り土が堤防となってそこで津波を食い止めたそうです。

何が幸いするか解らないものです。

宮城国体の宿舎も秋保温泉でしたが、ヨット会場まで1時間以上かかる為5時に起床、6時朝食で大変でした。

ヨットレースのスケジュールは

10:00 レース

9:00 出艇

8:00 会場到着、準備

となります。それで7時前には宿を出発しなければなりません。

このような事を書いていましたら、2012年に市内4クラブで東北を励ますツアーがあったことを思い出しました。バス2台で55名が参加しました。南三陸町の被災地を視察してホテル観洋に泊まりました。三条クラブからは10数名が参加していました。

## 幹事報告

渡辺良一 幹事



◎新潟中央RCより

「グローバル補助金プロジェクト参加ご送金の御礼」

◎三条RACより

「8月第二例会のご案内」

日時 8月27日(木) 19:30~21:00

会場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎三条市市民部環境課より

「三条スポGOMI大会(スポーツごみ拾い)のご案内」

日時 9月27日(日) 8:30~11:00

集合場所 三条市役所 栄庁舎

※50チーム(200名)の定員に達し次第募集を締め切ります。

## ニコニコBOX

野崎喜一郎会長

大変暑い日になりました。38℃です。熱中症に気をつけましょう。

渡辺良一さん

先週熱中症になってしまいました。皆さまくれぐれもご自愛下さい。

丸山さん、卓話よろしくお願ひ致します。

船越さん、初SAAガンバって！

西山徳芳さん

我家のとなりの田圃で先ほどからコンバインが動いています。新米のできはいかがでしょうか？

船越良則さん

初SAAの仕事をして頂きます。お聞き苦しい所もあると思いますがよろしくお願ひします。

丸山鉄兵さん

本日はよろしくお願ひします。

小林敬典さん

私事で恐縮ですが、日毎に健康を取り戻しています。

野水靖之さん

今日も暑いですね。コロナもそうですが熱中症にもお気を付け下さい…。

長谷川正実さん

暑い日が続きますが、体調管理に気をつけましょう。

丸山会員、卓話よろしくお願ひします。

安達俊明さん

年齢と共に暑さはきびしくなりますね。

菊池 渉さん

「ニコニコBOX」に入れるべく、Good newsを探しているのですがー。

小林吾郎さん

あついですね！

衛藤泰男さん

コロナウイルス感染情報が流れる中で、感染関係者からの情報開示がありました。要注意ポイントがわかり助かります。

樺山 仁さん

暑さで体が大変です。会員の皆さん気をつけて下さい。

本日の卓話に期待して！

中條克俊さん

丸山鉄平さん、卓話楽しみに来ました。健闘を祈ります。

荻根澤隆雄さん、杉山幸英さん、中村信一さん、

小出子恵出さん、小越憲泰さん、伊藤寛一さん、

石橋育於さん、中林順一さん、渡辺勝利さん、

松永一義さん、歸山 肇さん、若槻八十彦さん、

齋藤弘文さん、高橋 司さん、石黒良行さん、  
柳取崇之さん、小林卓哉さん、関 義実さん、  
相場弘介さん、落合孝夫さん

丸山鉄兵会員、本日は卓話ありがとうございます。  
お話し楽しみにしております。

8月26日分 ￥ 34,000  
今年度累計 ￥ 350,000

## 「卓話」

### 丸山鉄兵 会員



皆さんこんにちは。

このような機会を与えて頂いたプログラム委員会の皆様に感謝いたします。

そして、とても忙しい皆様の30分という貴重な時間を頂いていると思うと大変恐縮ですが、

そのことを旨に精一杯話したいと思います。

早速ですが始めます。

#### ・プロフィール説明

プロフィール	
生年月日	昭和54年1月28日 41才(O型みずがめ座)
事業所	株式会社 丸山製作所 (製造業) Leize (Webマーケティング)
役職	専務取締役(丸山製作所)/社員(Leize)
学歴	三条小学校→三条第三中学校→日本文理高校 →日本文理大学(機械工学部)
家族構成	妻・長男(9才)・長女(6才)
趣味	ネットサーフィン
特技	音楽制作
好きな名言	恐怖はつねに無知から生じる。【エマーソン(思想家)】

#### ・社業の説明

株式会社 丸山製作所	
創立	昭和32年2月
創業者	丸山吉平(祖父)
業種	製造業
生産品目	自動車,建設機製造機械用治具
主なエンドユーザー	富士重工業(株)、川崎重工(株)、日立建機(株)
所属部署	設計部・営業部

Leize	
創立	平成28年1月
創業者	丸山有紀(妻)
業種	集客・販売コンサル
業務内容	SNSを活用したWebマーケティング アフィリエイト

それでは本日の本題の話に移りたいと思います。

卓話の依頼を受けたときに、どんな内容の話をするかとても悩みましたが、1月に入会してすぐ新型コロナウイルスの影響で会員の皆様とお話しできる

## 9月のお祝い

### ◎会員誕生祝

6日 渡辺勝利さん  
13日 杉山幸英さん  
20日 山田富義さん  
28日 小森谷敦史さん



### ◎夫人誕生祝

1日 衛藤蓉子さん(泰男さん)

### ◎結婚記念祝

24日 渡辺良一さん(ひとみさん)

### ◎100%出席賞

26年 山田富義さん

機会がほとんどなかったのので、この機会を通じて私という人間がどんな人間か知って頂こうと思います。全編私の話ですので、退屈な内容でしたらすみません。

それでは、私がどんな人間かを話したいと思います。私は20代後半まで、人に対してまったく興味が無く、自分のやりたいことだけをやればいいと思って日々過ごしていました。また、仕事に対してもお金を稼ぐための手段としか思っていないでいました。

しかし、20代後半から今に至るまでに2つの大きな出来事があり、現在はまったく違う考え方に変わりました。

1つ目の出来事は青年会議所への入会です。

青年会議所には、2006年から2019年までの14年間在籍しました。その14年間はとても濃いもので、青年会議所は常に私に成長する機会を与えてくれました。

27歳で青年会議所に入会したときメンバーは100人以上いました。会議体ですので会議に参加してメンバーの発言を聞いていると、ほとんどのメンバーが明確なビジョンをもって目の前の問題に向き合っていることに当時の自分は不思議な感覚になりました。会議後の懇親会で自分と年齢があまり変わらないメンバーも同じような感じでしたので、「皆さんビジョンがしっかりしていてすごいですね」と言うと、当たり前のように感じて「キョトン」とした顔をされたことを覚えています。ただその当時は、自分もしっかりしたビジョンを持ちたいとは考えませんでした。また話の内容のほとんどが理解できなかったのので、早く帰って寝たいとしか思いませんでした。

入会して数か月くらいたった頃にあるメンバーから「頼まれごと」をされました。内容は懇親会のお手伝いでした。ただ飲み物を聞いて店員に頼むだけの簡単なお仕事とと思っていました。しかし、当時の私には人に気をを使うなんてことは考えず自分のタイミングでただ何を飲みたいかを聞いて店員に伝えるだけでした。懇親会も終わり会場の片づけをしていた際に、私に手伝いを頼んだメンバーが私のところに来て「おまえ何もできねーな」と言い放ち、メンバーが楽しく飲めるように考えて動け、皆忙しい中会議に参加しているから、楽しく飲んでもらいたいだろうと1時間ほど怒られました。社会人になって本気で怒られることなどなく、かなり悔しかったことを今でも覚えています。その人物が若かりし頃の三条RC会員の石黒さんでした。

その後、青年会議所について考える様になり、当時副理事長を務めていた小林吾郎さんに「どうやっ

たらここで通用しますか？」と尋ねたら、「言ってもわからないと思うから、言われたことを何も考えないで引き受けろ」と言われました。今の自分には何もできないことは理解出来ていましたし、負けず嫌いな性格もあってそこから14年間何を頼まれても少し悩んだ振りをして引き受けてきました。ただ理事長だけは諸事情でお断りしてしまった事は今でも後悔しております。

そこからの14年間は青年会議所での経験は自己成長のためには必要な修練の連続でした。ただそのおかげで今自分があります。

また、青年会議所からは仲間という存在の大切さを学びました。数年間役職を経験し、各地に出向していく中で約500人の青年経済人と関わることが出来ました。中には今でも付き合いのあるメンバーや仕事のやり取りをしている方もいます。その中でも一番の転機になった出会いは、2013年の委員長職時代と三条祭り若衆会の会長職時代でした。

入会して8年がたち、家庭を持ったこともあり、自分のビジョンも明確になっており、入会当初とは青年会議所に対する向き合い方も変わっていました。

青年会議所の委員長は企業でいう部長みたいな立ち位置で、15人くらいのメンバーとともに1年間、理事長の掲げた目的に向かって動くのですが、当時の私は根拠の無い自信に満ち溢れており、委員長の職務を安易に考えていました。青年会議所の目的の一つに「明るい豊かな社会を実現する」という目的があるのですが、実現に向かうには、メンバーをまとめ上げこの地域に暮らす人に青年会議所が一枚岩になって向き合うことが重要と理屈ではわかっていましたが、当時の私は熱量をだし人に訴えかけることがとても苦手で、机上の空論だけで委員会を運営していました。当然周りは私が何をしたいかなんて理解できるわけもなく、全く上手く行きませんでした。たださすがに青年会議所、そのときの私の上役が当時の私の状況を見て、私に気が付かれないように私を助けるために様々な策を考えてくれていました。その結果メンバーの方から私に何がしたいか聞いてくれるようになり、率先して委員会に関わってくれるようになってきました。そのおかげで雰囲気も良くなり無事に職務を全うすることが出来ました。後日上役の方が裏で動いてくれていたことを知ったのですが、自分がよい雰囲気にしたと勘違いしていたこともあって、恥ずかしくなっているのを覚えています。

この出来事で私の中で周りの人に対する考え方が全く変わったことをお覚えています。

自分一人ではたいしたことはないが関わってくれ

ている人がいて、支えてくれる人がいるからこそ様々なことが成り立っているのが身に染みて実感できた年になりました。

その上役の方は三条RC会員の関さんなのですが、策を練って頂いたお礼を言ったところ、自分に返さなくていいから「後輩」に返してくれとクールに言われました。この一言が残りの青年会議所活動の原動力となり、この時の恩を返すために卒業まで自分から志願して理事職をやりました。また、当時の理事長は三条RC会員の早川さんでこの経験を与えてくれたことには今でも感謝しております。

この年は、若衆会という三条祭りを運営する組織で会長職も務めさせてもらっていたのですが、若衆会は燕三条青年会議所とエコノミークラブ、商工会議所青年部で構成されている組織で、ここでも会の垣根を越えて助けてくれる仲間がいて何とか職務をまっとうできました。こちらはエコノミークラブに入会という形でお礼をさせてもらいました。

この経験は社業への考え方も一変し社員に対して共に事業を盛り上げてくれる仲間という考えに変わりました。

2つ目の出来事は結婚です。

今まで漠然と地域のために何ができるかを考えていたのですが、子供が出来たことで、自分の子供が未来この地域に残らなくても、自分の生まれた場所に誇りを持ってほしいという考えが強くなり、青年会議所での奉仕活動や社業での経営方針に大きな変化が生まれました。また、卒業後もこの地域に貢献

できる手段として三条RCメンバーの関さんと社業を伸ばし地域に貢献できる企業に成長させることを目的に燕三条ビジネスクラブという団体を設立し今に至ります。

この2つの出来事を経て、今の自分があるのは人に育てられた結果であり、今度は自分が人の役に立ちたいと思い人と接するようになりました。また、自分の考えだけでは物事を動かすことは困難なことで知り、物事の本質を見て俯瞰的に考え意見出来るようになりました。仕事に対しても社業を通じて地域を豊かにしていく義務があると考え日々仕事と向き合っています。

最後になりますが、この地域には様々な団体があります。その中で私が三条RCに入りたいと思った理由は、「妻の兄弟がいる」これは青年会議所時代に各種団体のことを好ましく思っていなかった妻からすると次に入る団体の条件としては最高の条件でした。そして、私の中で最大の決め手は青年会議所時代に特にお世話になった先輩が多く在籍している事です。

これから三条RCの会員の皆様と関わることで今よりもっと人として成長できるとワクワクしております。そして成長した自分がこの地域に対して何ができるかを考えながら過ごして行きたいと思えます。

自己紹介は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

年	役職
2006/27歳	入会
2007	幹事
2008	副委員長
2009	日本青年会議所出向/新潟ブロック協議会出向
2010	(結婚)
2011	休憩(長男誕生)
2012	休憩
2013	委員長/三条祭り若衆会 会長
2014	理事(長女誕生)
2015	専務理事
2016	副理事長
2017	監事/日本青年会議所出向/新潟ブロック協議会出向
2018	理事
2019/40歳	監事



例会の様子

次週例会 9月9日 「会員卓話」 長谷川正実 会員

次々週例会 9月16日 「外部卓話」 写真家 千葉真隆 様

